



和んぱく見守り隊 新たなスタート 新しいベスト・帽子の贈呈式



和んぱく見守り隊が組織され活動がスタートしてから15年ほどたちました。昨年度、新たに見守り隊の組織を整え、隊員の募集を行ったところ、何人かの方が賛同して下さり見守りに参加して下さいました。また、和地域づくり会長伊藤さんが、古くなった隊員ベストを新調しようといういろいろな団体に呼び掛けて下さり、多くの団体から協力金をいただくことができました。その協力金で制作・購入したベストと帽子、笛の贈呈式を25日に行いました。式には、協力していただいた団体の方が参加して下さいました。新調したベストは、通気性に優れ鮮やかな色合いで、サイズの調整も可能です。胸には、発足当時の和んぱく見守り隊のシンボルマークが付けられました。マークが印刷された帽子と、緊急時に使用する笛もいただきました。

式では、伊藤会長さんからこれまでの経過報告をしていただき、隊長の下村さんと学校長から感謝の言葉が伝えられました。今後、見守り隊の方々に学校においていただき、随時新しいベストと交換していく予定です。子どもたちには、機会を見て紹介したいと思います。

「和の子どもは、和地域で育てる」・・・和地域の方々が子どもたちに寄せる熱い思いが、また一つこのような形になりました。子どもたちの登下校時の安全を守ることはばかりでなく、温かいまなざしで見守り、時には励ましの声かけをして下さる見守り隊の方々に感謝の気持ちを伝えたいですね。

【協力して下さった団体様 順不同】

和区長会、和地区育成会、和地区分館長会、和地区生涯学習推進委員会、和地域づくりの会、交通安全協会和支会、商工会和支会、匿名様

おたがいをみとめあう～1年生「ハローゲーム」～



1年生は、自分の好きな「どうぶつ」や「あそび」「ばしょ」などを紹介した「ハローカード」を書いてできるだけたくさんの友だちとインタビューし合う「ハローゲーム」を行いました。普段一緒に遊んでいる友だちにいざ「インタビュー」となるとちょっと照れくさそうな表情を浮かべる子も見られましたが、今まで知らなかった友だちの好みを知り、目を丸くして驚いたり、自分と好きなものと同じ友だちを見つけて、はじけるような笑顔を見せたりする子がたくさん見

られました。今回の活動で大切にしたいことは「友だちと自分との違いを認め合うこと」です。自分と考え方が似ていたり、趣味や好みが似ていたりする友だちとは抵抗なく思いを伝え合ったり、自然に協力したりできるはず。しかし、これから成長していくにあたり、周りの友だちとの様々な「違い」に直面することと思います。そんな時に、本校のめざす子どもの姿の4つの中の1つ「違いを認め、力をあわせて解決していける和の子」になってほしいと願っています。積極的にたくさんの友だちにインタビューをする姿やカードに書かれた感想から、子どもたちの他者を思いやる心が少しずつ育っていることがうかがい知れました。おたがいの違いを認め合い、それを喜んだり楽しんだりできる1年生の子どもたち、私たち担任が見習わなければいけないかも……。と感じました。



ハローカード

- ☆ちがうのがたのしかったし、みんなとわらえてうれしいです。このゲームがたのしかったです。
- ☆おともだちのことがよくわかってよかったです。おなじことやちがうことがわかってよかったです。
- ☆じぶんとおなじひともいたけど、わけがちがくて、いいとおもいました。
- ☆いろんなことがしれてうれしかった。みんながちがって、たのしかった。
- ☆ほくとにているひともいて、ちがうひともいてたのしかった。

相手の気持ちを考えることの大切さを学んだ～2年生～

2年生は仲良し旬間中に「森のともだち」というお話を学習しました。わがままで乱暴な主人公「こんきち」は、ある時、オオカミに襲われてしまいます。そんな時、乱暴者のこんきちを避けていた森の仲間たちがこんきちを必死に助けてくれました。それなのに、こんきちは助けてくれたみんなを置いて自分だけ逃げてしまいます。そんな状況を知った後、子どもたちは、自分が森の仲間の一人になって、その時の気持ちを考えたり、こんきちの立場になって気持ちを考えたりしました。一人で逃げてしまったこんきちは、森の外れまで来て落ち着くと、自分が助かることだけを考えて逃げてしまったことを悔やみ、自分が恥ずかしくなってみんなの所へ引き返します。この授業を通して、「これから自分自身が友だちにどんな態度で接していくべきか……。」と、2年生なりに考え

るきっかけになればいいなと思いました。登場人物に心を寄せて、その気持ちを一生懸命考える子どもたちの姿をたくさんの保護者の皆様に見ていただくことができ、嬉しく思いました。ありがとうございました。

めざせ！スーパー仲よしペア～3年生～

3年生のみんなが楽しみにしていた「なかよしまつり」が18日に行われました。児童会ごとに



企画したゲームがとても工夫されており、5・6年生が店員さんになって、笑顔で接客してくれました。3年生の今回の目標は、4年生のペアの友だちと“なかよしペア”を超える『スーパーなかよしペアになること』です。ペアの友だちが教室に迎えに来てくれて、早速、事前に決めておいた委員会のゲームの場所に出かけていきました。

清掃委員会のみなさんは、「ゴミの重さ当てゲーム」を企画してくれていました。新聞紙・アルミ缶・マジックペンの重さをペアの4年生と協力して当てていきます。袋に入っているものを

持って「どのくらいの重さだと思う？」と相談しながら答えていました。ゲームを終えた後は、正解数に合わせてスタンプを押してもらえました。

運動委員会の企画「ストラックアウト」では、玉入れの球を使って、水の入ったペットボトルを倒していきました。最後に投げる球を4年生が3年生に譲っている姿を見ることもできました。様々な準備で、6年生はとても大変だったと思いますが、そのお陰で楽しいひとときになり、ペアの友だちはもちろん、たくさんの友だちと仲良くなるきっかけになりました。

- ・ストラックアウトの時、最後1個の玉になったら「やっていいよ。」と言ってくれたのでうれしかったです。
- ・スーパーなかよしペアになれたし、4年生になったらああいうふうによれほしいんだなと思いました。あと、はじめはペアの〇〇さんと全然一緒にしゃべれなかったけど、今日はたくさんしゃべれてよかったです。
- ・今日、仲よしまつりをやって、ペアと協力してできてよかったです。ペアとは、あまりしゃべらなかつたのに、今日の仲よし祭りで、とても仲よくなりました。スーパー仲よしペアになれて、うれしかったです。
- ・玉をゆずってくれたり、協力したりしてくれて、うれしかったです。
- ・まとあてゲームもいっぱいやったし、一緒に楽しくできてスーパー仲よしペアになれたと思います。
- ・いろんなところの楽しい遊びをやっていくと、だんだんペアと仲よしになれたのでうれしかったです。

一人一人の違いを大切にできるように～4年生～

4年生は仲よし旬間中に「わたしはこんな友だちが好き！」というワークショップを行いました。はじめに自分はどんな友だちが好きか、その理由も含めて考えました。次に、タブレットのワークシートを使い、どんな友だちを大切にしたいかランキング形式でカードを並べ、グループの中で意見交換をしてみると、考えていることが一人ひとり違うことに子どもたちは気づきました。その考えはどれも間違いではないし尊重されることを確認してから、最後に、担任が絵本の



読み聞かせを行いました。松組は「世界のひとびと」竹組は「見えるとか見えないとか」です。

一連の活動を通して多くの子が、「みんな違っているのが当たり前」であり、「多様性のない社会はつまらない」という感想を持ちました、また、それぞれのよさを認め合っていくことの大切さを感じ取ることもできました。

- ・みんな考えている事が違って分かった。
- ・みんな個性などが同じだと面白くないけどみんな個性などが違うと楽しいし面白い。
- ・みんな違うのは、とてもいい事なんだなぁ。
- ・みんな違うと、素敵だし、たくさんいいことがあるということがわかった。みんな違うけどいいところがたくさんあるんだなぁと思った。
- ・世の中には、色々な人がいるんだなと思いました。
- ・みんなが、全部一緒だったら、つまないし、おもしろくない。でも、それぞれ、みんなちがかったらつまなくなかないし、おもしろい。
- ・違っていい事なんだと思った

この「ちがい」はいいの？～自分で判断できる5年生に～

5年生は身のまわりにあるちがいを「あっていいちがい」と「あってはいけないちがい」に分けるという学習をしました。子どもたちは、今まで「ちがい」について深く考えたことがなかったようです。「分ける」ということにとっても悩んでいました。しかし今回の授業では「どちらかな？」と迷い、悩みながら考えることがとても大事だったと思います。授業のまとめで子どもたちは、「あっていいちがいは、一人一人が持っている『個性』であること。そして、あってはいけないちがいは『いじめや差別』ではないか。」と結論を出しました。一人一人が考えたことや感じたことをこれからの生活の中で大切にしてほしいです。また、今回学習したことをきっかけに、「ちがいのちがい」に気づくことのできる人になってほしいと願っています。

- ・ほくは、ちがいについて、あっていいちがいは仕方が無いことやどうすることもできないことで、あってはいけないちがいは差別やいじめ、人にめいわくをかけることだと思います。
- ・ふだん、あまり考えていなかったのに、よく考えて生活したいです。けっこう難しかったけど、みんながたくさん意見を言ってくれたので、理解できました。人を差別するのはダメだということをよく知ることができました。
- ・あってもいいちがいは、人それぞれだったりすることだけど、あってはいけないちがいは不公平なことだったりするんだなと思いました。あっていいちがいとあってはいけないちがいの区別をしっかりとつけられるようにしたいです。
- ・自分がそう思っているけど他の友だちは「そうじゃない。」と思っていることがいろいろあっておもしろいなと思いました。バレンタインの問題は特に難しかったけど、ちがいについて考えることができて良かったです。

・車いすのちがいについて、ほくはあっていいちがいだと思っていたけれど、よく考えると不自由を感じるから、あってはいけないと思った。

下級生の笑顔が喜びとやりがいに～6年生～

18日（木）に、児童会が企画したなかよし祭りが行われました。1年生とは朝の「なかよし」の時間に一緒に遊んだり「七夕の飾り付け」をして七夕祭りを楽しんだりしてきましたが、さらにこのなかよし祭りを通して、より親しくなることができました。以前から6年生の子どもたちは、1年生が楽しく遊べるように、手をつないでリードしてくれたり、優しく説明してくれたりしていました。今回は児童会の仕事もあるので、前半後半に分かれて、友だちのペアの様子も見ながら、1年生と楽しむことができました。



今回の企画は、6年生が意見を出し合って考えました。4・5年生と共に行う児童会の時間には、準備や当日の運営の練習をしました。「和小学校にまつわるクイズ」や、保健委員会の「ボールでウイルスをやっつけるゲーム」など、各委員会の特徴のあるものが多くありました。また、各ペアが1分程度で終わり、できるだけ密にならないようにする工夫も見られました。

思いを伝えることや相手の気持ちを考えることの大切さを学ぶ～菊組・桜組～



桜組では、参観日の日に保護者の方に製作した様々な作品を販売しました。「お店の店員さんをする時はドキドキするよ！」と始める前は緊張した様子でしたが、お客さんとして来てくれる保護者の方々が気持ちよく買い物ができるように、また、自分の思いを込めて制作した品物を少しでも多くの方に見てもらえるように「明るく笑顔で声をかけよう」「大きな声で呼び込みをしよう」など、しっかりと自分なりの目標をもって活動に取り組みました。旬間中には、いつも応援したり、支えたりしてくれる先生方に制作した作品をプレゼントし、感謝の思いを伝えることができました。

菊組では、旬間中に「なんていえばいいのかな」という題材の学習をしました。自分が困った時に自分の思いを周りの人にどのような伝えればいいのか、また、周りの人が困っている時に、自分が相手にどのようにかかわったらいいのかを友だちと考え合いました。その後の制作活動では、自然に友だちと協力し合う姿が見られました。相手の気持ちを考えたり、相手の気持ちを考えながらかかわったりする子どもたちの表情は、自然と笑顔になり優しさにあふれていました。この旬間中、相手のことを大切にしたかかわりをする中で、自分もあたたかい気持ちになることを学びました。

東部中学校区 授業公開と懇談



東部中学校の先生方が、市内 4 つの小学校に分かれて高学年の授業参観と懇談を行ないました。本校には 9 名の先生方が来られ、5・6 年の授業を参観しました。懇談会では、黒板の記録を見ながら授業を振り返ったり、児童の様子を話し合ったりしました。タブレットを使った学習について、中学校での使い方の違いやルールについての意見交換がありました。また、授業者と児童とのやり取り、ペアやグループ学習の様子、授業の流れや資料の使い方など、小中の垣根を越えて語り合うことができ、とても有意義な時間となりました。小・中学校が連携して児童生徒の育成にあたることを確認した機会にもなりました。

ベランダ化粧直し 東御市建設協会ボランティア活動



11 月半ばから、市内各校の庁務員や教育委員会の皆様が、ベランダ手すりの錆を剥がし、ペンキの塗り替えをしてくださっていました。20 日には建設協会の皆様 13 名にボランティアとしてペンキ塗りをしていただき、まだら模様がすっかりきれいになりました。また、重機を使って職員駐車場の砂利敷きもやってくださいました。ありがとうございました。

12月の予定

- 1日(水)安全点検の日 マルーシカ読み聞かせ4・6年
- 2日(木)地区児童会
- 4日(土)人権尊重のまちづくり市民の集い
- 7日(火)中学校説明会6年
- 8日(水)保護者懇談会(海善寺、海善寺北、東入、西入)
- 9日(木)保護者懇談会(東上田、その他)
- 10日(金)保護者懇談会(日向が丘、睦、寺坂)
- 13日(月)保護者懇談会(大川、栗林、田沢)
- 14日(火)保護者懇談会(東深井、西深井、曾根)
- 15日(水)スクールカウンセラー来校日
そり・スキー教室下見
- 16日(木)学期末清掃(~27日) 創造館
学習4年 和記念館清掃6年
- 17日(金)教育支援ボランティア会 SST
- 22日(水)東御市学校職員会② 4時間授業
- 24日(金)社会科見学4年
- 27日(月)2学終業式
- 28日(火)~1月6日(木)年末年始休み
○学校リフレッシュウィーク 29日(水)~1月5日(水)

3年生が、「不思議に思うこと」と題した作文の学習をしました。(先日、8名が信濃毎日新聞に掲載されました)。日頃不思議に思っていることを、素直な気持ちで文章に綴ったものです。家族、動植物、自然、身近なもの、社会の出来事など見聞きし感じたことが書かれていて、子どもたちの捉えや感性のすばらしさに改めて感動しました。中には、自分自身を見つめて自分のことになぜだろうと考えている子もいました。なぜだろう、不思議だなど感じることは、学びの出発点、発火点です。そこから、学びが広がり深まっていくのだらうと思います。

今月号では、11月の仲よし旬間での様子を紹介しました。人権同和教育は本校の柱となる教育です。

文責・作成：校長 教頭